

全国病院事業管理者協議会

会報 第31号

令和3年12月

全国病院事業管理者協議会 事務局(担当:佐々木)
〒030-8553 青森市東造道2丁目1番1号
青森県立中央病院がん診療センター企画室内
TEL:017-726-8046 FAX:017-752-9088

令和3年度全国病院事業管理者研修会を終えて

昭和病院企業団 企業長兼院長 上西 紀夫

はじめに:

令和3年度の第13回全国病院事業管理者研修会は、新型コロナウイルス感染症が一段落したが、昨年にかけてハイブリッド形式で11月13日(土)に開催した。会場は昨年と同じ「ホテル ルポール麴町」(東京都千代田区)で、参加者は本会場およびWebでの参加を含めて約80名であった。

今回のテーマは、これまでの最大の感染者数となった第5波がようやく落ち着き4回目の緊急事態宣言が9月末に解除されたが、1年半以上にわたるコロナ禍の影響は甚大で大変厳しい上に、三位一体改革、とくに働き方改革という病院経営にとって死活問題になりかねない課題が待ち構えていることから「医療をめぐる嵐の中で」と題して研修会の内容を企画し、「コロナ禍のこれまでとこれから」と「医療法改正をめぐる」の2つのパートに分けて発表と討論を行った。以下に、プログラムの内容に即して報告する。会員の皆様の参考になれば幸いである。なお、講演のビデオを本協議会のホームページ(会員専用ページ)に掲載してありますので、詳細についてはそちらをご参照下さい(除く、前厚生労働省医政局地域医療計画課長の講演)。



世話人挨拶

1. 新任者オリエンテーションと時局解説

恒例の吉田茂昭会長による講演が「病院事業管理者の権限と役割 ~時局認識を含めて~」と題して行われた。この中で、病院事業管理者であることの意義については、公益を優先すること、副知事、副市長と同等の権限を有している特別職であり、行政や他の領域との連携を通じて地域医療に貢献することが重要であることを強調した。さらに、公立病院改革ガイドラインの一つである経営形態の見直しに関して、独立行政法人化については大きな問題があり安易な独法化については警鐘を鳴らした。

2. 「コロナ禍のこれまでとこれから」

・特別講演①

京都大学環境衛生学分野教授の西浦博先生から「疫学から見た新型コロナウイルス感染症」と題してリモートによる講演が行われた。先生はご存知の通り厚労省の新型コロナウイルス感染症対策本部でのクラスター対策班のメンバーとして大活躍され、今回の講演においては「なぜ「抑制」政策をしてきたか」、「ボトルネックである病床数予測」、「病床が足りないとうなったか」について、患者登録システムのHER-SYSなどのデータに基づき疫学統計の数々の手法を用いて分かりやすく解説した。そして最後には「今後の大まかな見通しの共有」と題して第6波の可能性について言及され、気温すなわち低温と人の動きである人流の組み合わせによる影響が極めて重要であることを指摘した。

・特別講演②

国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長の 大曲貴夫先生から「**新型コロナウイルス感染症をめぐる課題**」と題してリモートによる講演が行われた。先生は豊富な臨床データと臨床経験を基に新型コロナウイルス感染症の経過、最近の治療法の変遷、後遺症の問題、そして重症化予測の可能性について述べた。さらに、妊産婦や小児における感染の特徴についても述べた。また、最近問題となっているブレークスルー感染について言及し、ワクチン未接種者に比較して重症化や死亡の率が低いことを示した。これと関連し、3回目のワクチン接種についてはその効果についてのエビデンスは明確ではないが、海外でのワクチン接種後の感染増加を考慮すると必要ではないかと述べた。

・特別講演③

東京医科歯科大学大学院精神行動医科学主任教授の高橋英彦先生から「**コロナ禍における医療者のメンタルヘルスケア**」と題して、現地参加での講演が行われた。先生は予防、モニタリング、面談、そしてフォローアップがメンタルサポートの基本であり、燃え尽きへの注意と心のケアが重要であることを述べ、特に「燃え尽き症候群」の要因や背景について脳科学的知見を含めて詳しく解説した。また、コロナ禍における医療者のメンタルヘルスケアに関しては、独自に開発したストレス評価尺度を用いた結果について報告し、適切なカットオフ値を設定し、該当する人をケアすることで乗り越えることが出来たと述べた。

3. パネルディスカッション「コロナ禍における地域医療連携の実際」

これまで地域医療構想の推進が叫ばれてきているが、必ずしも進んでいるとは言えないのが現状であるが、このコロナ禍を契機として地域連携が進み始めたところもある。そこでその具体例として3つの活動に注目し、今回のパネルディスカッションを企画した。

まず初めに、「**千葉県で進める地域医療構想**」と題して、**千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター長の吉村健佑先生**は、千葉県での状況を踏まえて医療提供体制をどのように検討、計画しているかについて講演した。その中で、DPCやNDBのデータ解析や情報提供の中心となるアカデミアである大学と、行政との協力に基づき、役割分担や医師派遣、集約化をすることでパンデミックに対する有効な対策になることを述べた。

次に、「**長崎県での経験から**」と題して、**長崎県病院企業団企業長の米倉正大先生**は、離島を多く抱える長崎県でのコロナ禍への対応について報告した。その中で、病院事業管理者が行うべきこととして、①行政や大学病院など大病院との調整、②院内でのクラスター防止の教育、③各病院間の情報共有、④重症患者の離島からの搬送体制、⑤企業団病院内の応援体制のシステムづくり、⑥他組織への応援体制のシステムづくり、を挙げた。そして、その基本となる重要な点として医師の適正配置が欠かせないこと、そのためにはDPCデータなどを分析する必要があることを強調した。

最後は、「**墨田区での試みから**」と題して、**墨田区保健衛生担当部長・墨田区保健所長の西塚至先生**は、保健所がリーダーシップを発揮して地域での連携を深めてコロナに対応したことを報告した。墨田区では都立墨東病院が救命救急センターかつ感染症指定医療機関であり、多くのコロナ患者を受け入れると同時にクラスターも発生し、医療崩壊が目前に迫っている



研修会風景

中で、墨東病院を何とか支えるべきとの考えが広まり保健所と医師会が協力し、検査体制の拡充や地域への情報発信をすることにより医療崩壊を免れたことを述べた。

引き続いての総合討論では、特に墨田区での活動について質問と賛同の意見が多くあった。また、座長の一人である鹿児島県立病院事業管理者の福元俊孝先生からも鹿児島県での状況の報告があった。最終的には、どのように適切に医師や医療スタッフを派遣、あるいは集約するか、またそのためには地域における各種のデータの分析が必須であることが浮き彫りになった。

4. 「医療法改正をめぐって」

1) 教育講演「その後の地域医療構想について」

前厚生労働省医政局地域医療計画課長の鈴木健彦先生より、「**コロナ禍を踏まえた地域医療の今後のあり方**」と題して現地参加で講演が行われた。この中で、地域医療構想の全般的な事項について述べ、次に新型コロナウイルス感染症の地域医療への影響、そしてそれへの対応を踏まえた今後の医療計画・地域医療構想の進め方について講演した。とくに医療計画としては、これまでの5事業に加えて新興感染症への対応を6事業とすること、また、平時での取り組みと次感染拡大時での取り組みと分けて計画を立案する必要があることを示した。

2) 特別講演「医師の働き方改革留意点」

八幡平市病院事業管理者の望月泉先生より、表題の題目で講演が行われた。先生は、働き方改革の概略と今後の動向について述べたが、まずは、病院管理者を含めて医師の意識改革が働き方改革の大前提であることを強調した。そしていくつかの取り組むべき項目について解説すると共に、一つの具体的な例として前任地の岩手県立中央病院での働き方改革の取り組みについて報告した。

おわりに：

今回の研修会の企画段階では新型コロナウイルス感染症が蔓延し、特に第5波ではこれまでにない患者数、そして重症者、死亡者が増加し、どのような開催形式で行うのか、講演をお願いした先生方が引き受けていただけるのか大いに懸念していたが、9月に入って急激に患者数が減少し、何人かの講演者も現地参加をしていただき無事に終えることが出来ほっとしているところである。

全体を通じての感想としては、重要な役割を担うと同時に大きな権限を有する病院事業管理者や企業長として、平常時は勿論のことであるが、コロナ禍のような重大な状況においては積極的にリーダーシップを発揮し、地域連携の先頭に立たねばならないことが明らかになったと言える。今後の本協議会での議論の深まりと活動の進化を期待したい。

最後に、ご多忙の中、講演をしていただいた先生方、座長をお務めいただいた役員の先生方、現地ならびにWeb参加していただいた皆様方に感謝を申し上げます。そして何よりも、会場の手配やWeb配信の面倒な作業を快く引き受けていただいた事務局、ならびに青森県立中央病院の職員の皆様に心から御礼を申し上げます。

研修プログラム

1. 新任者オリエンテーションと時局解説

「病院事業管理者の権限と役割 ～時局認識を含めて～」

全国病院事業管理者協議会会長 吉田 茂昭

2. 「コロナ禍のこれまでとこれから」

1) 特別講演

① 「疫学から見た新型コロナウイルス感染症」

京都大学環境衛生学分野教授 西浦 博

② 「新型コロナウイルス感染症をめぐる課題」

国立国際医療研究センター病院国際感染症センター長 大曲 貴夫

③ 「コロナ禍における医療者のメンタルヘルスケア」

東京医科歯科大学大学院精神行動医科学主任教授 高橋 英彦

2) パネルディスカッション「コロナ禍における地域医療連携の実際」

① 「千葉県で進める地域医療構想」

千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター長・特任教授 吉村 健佑

② 「長崎県での経験から」

長崎県病院企業団企業長 米倉 正大

③ 「墨田区での試みから」

墨田区保健衛生担当部長・墨田区保健所長 西塚 至

3. 「医療法改正をめぐって」

1) 教育講演「その後の地域医療構想について」

前厚生労働省医政局地域医療計画課長 鈴木 健彦

2) 特別講演「医師の働き方改革留意点」

八幡平市病院事業管理者 望月 泉

4. 総括

全国病院事業管理者協議会名誉会長 矢野 右人

私の信条 26

掛川市・袋井市病院企業団企業長
宮地 正彦



私が医師となり、外科医となり、院長となり、その中で一貫した心情は『あきらめない』でした。その思いに導いたものは私の母校でもある岐阜高校の校訓である『百折不撓』の言葉だろうと感じています。経験が増すごとに、問題と遭遇することも多くなり、くじけそうになったことも何度もありました。「順風満帆の時の行動が最終評価になるのではなく、逆境の時の行動で周囲は評価する。」と考え、苦しい時こそ、自分のできること、自分のすべきことをしようと努めてきました。その姿が周囲の誰かの目に留まり、苦境から引き揚げてくれることも実感しました。「やれないではない。やるために工夫し、考え、結果を出す。」との想いを今、病院の職員に伝えています。あきらめないで努力し続けることは厳しいことです。時には疲れて立ち止まることも必要です。でも後ろを向いて逆戻りをして、またいずれは問題が立ちのびてきます。だったら、休んだのちに小さな一歩でも踏み出せば、また道が開けてきます。だから『あきらめない』気持ちを持ち続けたいと思っています。

総会報告

令和3年8月26日に開催された全国病院事業管理者協議会総会において、下記の通り承認されましたので御報告いたします。

令和3年度 全国病院事業管理者協議会 役員名簿

旧役員

1. 名誉会長・顧問

役職名	氏名		備考
名誉会長	矢野 右人	元協議会長	
顧問	小田 清一	前協議会長	厚労省担当
顧問	中川 正久	前副会長	総務省・全自病担当

2. 幹事

役職名	氏名	所属団体名	備考
会長	吉田 茂昭	青森県	都道府県
副会長	並木 昭義	小樽市	市町村
副会長	米倉 正大	長崎県病院企業団	企業団
幹事	福元 俊孝	鹿児島県	都道府県
幹事	上西 紀夫	昭和病院企業団	企業団
幹事	望月 泉	八幡平市	市町村
幹事	和田 大助	高松市	市町村

3. 監事

役職名	氏名	所属団体名	備考
監事	宮地 正彦	掛川市・袋井市病院企業団	企業団
監事	片柳 憲雄	新潟市	政令市

新役員

役職名	氏名		備考
名誉会長	矢野 右人	元協議会長	
顧問	小田 清一	前協議会長	厚労省担当
顧問	中川 正久	前副会長	総務省・全自病担当

役職名	氏名	所属団体名	備考
会長	吉田 茂昭	青森県	都道府県
副会長	並木 昭義	小樽市	市町村
幹事	福元 俊孝	鹿児島県	都道府県
幹事	上西 紀夫	昭和病院企業団	企業団
幹事	望月 泉	八幡平市	市町村
幹事	和田 大助	高松市	市町村

役職名	氏名	所属団体名	備考
監事	宮地 正彦	掛川市・袋井市病院企業団	企業団
監事	石田 陽一	富山市	市町村

令和2年度全国病院事業管理者協議会 事業実績報告書

事業名	概要
第12回 全国病院事業管理者研修会 (当番世話人) 並木昭義 小樽市病院事業管理者	開催日時：令和2年11月14日(土) 10:00～16:50 開催場所：「ホテルルポール麹町」(東京都千代田区) テーマ：「押し寄せる医療提供体制の変化とその対応をめぐって」 参加者数：会場参加40名、Web参加47名 計87名
第19回 全国病院事業管理者・ 事務責任者会議 (当番世話人) 望月泉 八幡平市病院事業管理者	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、 令和3年度に延期となった。
全国病院事業管理者協議会 総会	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、 下記議題について関係資料を郵送により承認を得た。 議題： 1 役員の異動について 2 令和元年度決算報告について 3 令和2年度予算案について 4 令和3年度の協議会開催行事について
総務省訪問 吉田会長 並木副会長 中川顧問	訪問日：令和2年11月13日(金) 訪問先：総務省準公営企業室 自治財政局官房審議官(公営企業担当) 準公営企業室長
全国自治体病院協議会 との連絡会議	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、 今年度は開催を見合わせた。

令和3年度全国病院事業管理者協議会 事業実施計画書

事業名	概要
第19回 全国病院事業管理者・ 事務責任者会議 (当番世話人) 望月泉 八幡平市病院事業管理者	開催日：令和3年8月26日(木) ～令和3年8月27日(金) 開催場所：「アイーナ(いわて県民情報交流センター)」(岩手県盛岡市) 開催方法：Web方式
全国病院事業管理者協議会 総会	開催日：令和3年8月26日(木) 開催場所：「アイーナ(いわて県民情報交流センター)」(岩手県盛岡市) 開催方法：Web方式 議題： 1 役員異動について 2 令和2年度決算の承認について 3 令和3年度予算(案)の承認について 4 令和4年度の協議会行事について
第13回 全国病院事業管理者研修会 (当番世話人) 上西紀夫 昭和病院企業団企業長	開催日時：令和3年11月13日(土) 10:00～17:00 開催場所：「ホテルルポール麹町」 (東京都千代田区平河町)
総務省訪問 (予定)	「定例意見交換」 訪問日：令和3年11月12日(金) 訪問先：総務省準公営企業室
全国自治体病院協議会 との連絡会議 (予定)	「定例意見交換」 開催日時：令和3年11月12日(金)

令和2年度全国病院事業管理者協議会 決算報告書

(収入)

科目	金額	備考
令和元年度からの繰越金	4,745,914	
年会費	7,900,000	158団体
研修会負担金	0	会員のみ参加としたため
その他	負担金	0
	利息	81
収入合計	12,645,995	

(支出)

科目	金額	備考
研修会運営費	2,286,637	東京都内開催
定例会運営費	103,280	定例会中止に伴うキャンセル料金
役員会経費	856,760	都内1回、リモート開催1回
会報・ホームページ・ メーリングリスト経費	404,910	会報作成・ HP・ML制作・維持管理委託
所得税	18,630	研修会講師報酬分
事務局経費	309,987	郵便料・事務消耗品等
要年度繰越金	8,665,791	
支出合計	12,645,995	

令和3年3月31日
上記のとおり報告いたします。
全国病院事業管理者協議会 会長 吉田茂昭

令和3年3月31日
監査の結果、上記報告書のとおり相違ありません。
監事 片桐憲雄
監事 宮地正彦

令和3年度全国病院事業管理者協議会 予算書

I 収入の部 (単位：千円)

科目	金額	備考
前期繰越金	8,666	
会費	8,000	@50千円×160団体
研修会負担金等	325	研修会等参加費
収入合計	16,991	

II 支出の部 (単位：千円)

科目	金額	備考
研修会運営費	2,300	東京都開催
全国会議運営費	2,300	岩手県八幡平市開催
総会・役員会開催経費	3,000	総会 1回(八幡平市) 役員会 4回
ホームページ・会報等経費	405	HP・ML管理、会報制作(2回)
事務局経費	330	事務消耗品費・所得税等
予備費	8,656	
支出合計	16,991	

令和3年4月1日提出
全国病院事業管理者協議会 会長 吉田茂昭

会員の動向

令和3年10月1日現在で、全国病院事業管理者協議会の会員は、下記のとおりとなっています。

全国病院事業管理者協議会 会員団体名簿

今年度御入会いただいた会員です。

道県 25団体

1	北海道	北海道	北海道道立病院局
2	青森県	青森県	青森県病院局
3	岩手県	岩手県	岩手県医療局
4	山形県	山形県	山形県病院事業局
5	福島県	福島県	福島県病院局
6	茨城県	茨城県	茨城県病院局
7	群馬県	群馬県	群馬県病院局
8	千葉県	千葉県	千葉県病院局
9	新潟県	新潟県	新潟県病院局
10	静岡県	静岡県	静岡県立静岡がんセンター
11	愛知県	愛知県	愛知県病院事業庁
12	三重県	三重県	三重県病院事業庁
13	滋賀県	滋賀県	滋賀県病院事業庁
14	兵庫県	兵庫県	兵庫県病院局
15	鳥取県	鳥取県	鳥取県病院局
16	島根県	島根県	島根県病院局
17	広島県	広島県	広島県病院事業局
18	徳島県	徳島県	徳島県病院局
19	香川県	香川県	香川県病院局
20	愛媛県	愛媛県	愛媛県公営企業管理局
21	高知県	高知県	高知県公営企業局
22	大分県	大分県	大分県立病院
23	宮崎県	宮崎県	宮崎県病院局
24	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県立病院局
25	沖縄県	沖縄県	沖縄県病院事業局

政令市 7団体

26	北海道	札幌市	市立札幌病院
27	宮城県	仙台市	仙台市立病院
28	千葉県	千葉市	千葉市病院局
29	神奈川県	横浜市	横浜市医療局
30	神奈川県	川崎市	川崎市病院局
31	新潟県	新潟市	新潟市民病院
32	熊本県	熊本市	熊本市病院局

企業団 18団体

33	北海道	広域紋別病院企業団	広域紋別病院
34	青森県	つがる西北五広域連合	つがる総合病院
35	青森県	北部上北広域事務組合	公立野辺地病院
36	宮城県	みやぎ県南中核病院企業団	みやぎ県南中核病院
37	福島県	公立岩瀬病院企業団	公立岩瀬病院
38	千葉県	君津中央病院企業団	君津中央病院
39	千葉県	長生郡市広域市町村圏組合	公立長生病院
40	東京都	昭和病院企業団	公立昭和病院
41	静岡県	掛川市・袋井市病院企業団	中東遠総合医療センター
42	石川県	白山石川医療企業団	公立松任石川中央病院
43	長野県	伊南行政組合	昭和伊南総合病院
44	広島県	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院
45	香川県	三豊総合病院企業団	三豊総合病院
46	香川県	小豆島中央病院企業団	小豆島中央病院企業団
47	高知県	高知県・高知市病院企業団	高知医療センター
48	佐賀県	伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院
49	長崎県	長崎県病院企業団	長崎県病院企業団
50	熊本県	球磨郡公立多良木病院企業団	公立多良木病院

市町 110団体

51	北海道	小樽市	小樽市病院局
52	北海道	室蘭市	市立室蘭総合病院
53	北海道	旭川市	市立旭川病院
54	北海道	函館市	函館市病院局
55	北海道	松前町	松前町立松前病院
56	北海道	木古内町	木古内町国民健康保険病院
57	北海道	砂川市	砂川市立病院
58	北海道	中標津町	中標津町立中標津病院
59	北海道	根室市	市立根室病院
60	北海道	留萌市	留萌市立病院
61	北海道	名寄市	名寄市立総合病院
62	北海道	士別市	士別市立病院
63	北海道	芦別市	市立芦別病院
64	青森県	八戸市	八戸市立市民病院
65	青森県	黒石市	黒石病院
66	青森県	十和田市	十和田市立中央病院
67	岩手県	盛岡市	盛岡市立病院
68	岩手県	奥州市	総合水沢病院
69	岩手県	八幡平市	八幡平市立病院
70	宮城県	登米市	登米市医療局
71	宮城県	栗原市	栗原市病院事業 医療局
72	宮城県	大崎市	大崎市民病院
73	宮城県	塩竈市	塩竈市立病院
74	宮城県	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院
75	秋田県	横手市	市立横手病院
76	秋田県	大館市	大館市立総合病院
77	福島県	いわき市	いわき市医療センター

78	山形県	鶴岡市	鶴岡市立荘内病院
79	山形県	山形市	山形市立病院済生館
80	山形県	寒河江市	寒河江市立病院
81	茨城県	北茨城市	北茨城市民病院
82	埼玉県	春日部市	春日部市立医療センター
83	埼玉県	川口市	川口市立医療センター
84	埼玉県	草加市	草加市立病院
85	千葉県	松戸市	松戸市立総合医療センター
86	東京都	町田市	町田市市民病院
87	神奈川県	平塚市	平塚市市民病院
88	神奈川県	三浦市	三浦市立病院
89	神奈川県	厚木市	厚木市立病院
90	富山県	富山市	富山市民病院
91	石川県	金沢市	金沢市立病院
92	石川県	七尾市	公立能登総合病院
93	石川県	加賀市	加賀市医療センター
94	長野県	岡谷市	岡谷市市民病院
95	長野県	大町市	市立大町総合病院
96	岐阜県	岐阜市	岐阜市市民病院
97	静岡県	焼津市	焼津市立総合病院
98	静岡県	藤枝市	藤枝市立総合病院
99	愛知県	一宮市	一宮市立市民病院
100	愛知県	豊川市	豊川市市民病院
101	愛知県	小牧市	小牧市市民病院
102	愛知県	みよし市	みよし市市民病院
103	愛知県	稲沢市	稲沢市市民病院
104	愛知県	常滑市	常滑市市民病院
105	三重県	四日市市	市立四日市病院
106	三重県	伊勢市	市立伊勢総合病院
107	滋賀県	近江八幡市	近江八幡市立総合医療センター
108	滋賀県	長浜市	市立長浜病院
109	滋賀県	高島市	高島市市民病院
110	滋賀県	彦根市	彦根市立病院
111	京都府	福知山市	市立福知山市民病院
112	京都府	亀岡市	亀岡市立病院
113	大阪府	池田市	市立池田病院
114	大阪府	八尾市	八尾市立病院
115	大阪府	豊中市	市立豊中病院
116	大阪府	貝塚市	市立貝塚病院
117	兵庫県	芦屋市	市立芦屋病院
118	兵庫県	伊丹市	市立伊丹病院
119	兵庫県	宝塚市	宝塚市立病院
120	兵庫県	加西市	市立加西病院
121	兵庫県	西宮市	西宮市立中央病院
122	和歌山県	海南市	海南医療センター
123	和歌山県	橋本市	橋本市市民病院
124	和歌山県	串本町	くしもと町立病院
125	鳥取県	鳥取市	鳥取市立病院
126	鳥取県	南部町	国保西伯病院

127	島根県	松江市	松江市立病院
128	島根県	出雲市	出雲市立総合医療センター
129	島根県	安来市	安来市立病院
130	島根県	雲南市	雲南市立病院
131	島根県	大田市	大田市立病院
132	岡山県	笠岡市	笠岡市立市民病院
133	岡山県	瀬戸内市	瀬戸内市民病院
134	岡山県	井原市	井原市立井原市民病院
135	広島県	尾道市	尾道市病院事業局
136	広島県	庄原市	庄原市立西城市民病院
137	広島県	安芸太田町	安芸太田病院
138	広島県	福山市	福山市民病院
139	山口県	光市	光市病院局
140	山口県	美祢市	美祢市病院事業局
141	山口県	山陽小野田市	山陽小野田市病院局
142	山口県	周防大島町	周防大島町病院事業局
143	徳島県	徳島市	徳島市民病院
144	徳島県	つるぎ町	つるぎ町立半田病院
145	香川県	高松市	高松市立みんなの病院
146	香川県	さぬき市	さぬき市民病院
147	香川県	坂出市	坂出市立病院
148	愛媛県	宇和島市	宇和島市病院局
149	福岡県	田川市	田川市立病院
150	長崎県	平戸市	平戸市民病院
151	熊本県	荒尾市	荒尾市民病院
152	熊本県	上天草市	上天草総合病院
153	熊本県	天草市	天草市病院事業部
154	大分県	豊後大野市	豊後大野市民病院
155	大分県	杵築市	杵築市立山香病院
156	大分県	中津市	中津市立中津市民病院
157	宮崎県	小林市	小林市立病院
158	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市立病院
159	鹿児島県	出水市	出水総合医療センター
160	鹿児島県	枕崎市	枕崎市立病院

令和4年度の協議会開催行事について

1. 第20回 全国病院事業管理者・事務責任者会議

開催日：令和4年8月25日(木曜日)～26日(金曜日)

開催場所：「かがわ国際会議場（高松シンボルタワー内）」
香川県高松市サンポート2-1

当番世話人：和田 大助 高松市病院事業管理者



高松市街地（屋島を望む）



父母ヶ浜



さめきうどん



瀬戸大橋

2. 第14回 全国病院事業管理者研修会

開催日時：令和4年11月19日（土曜日）
午前10時～午後5時

開催場所：「ホテル ルポール麴町」
東京都千代田区平河町2-4-3

当番世話人：宮地 正彦 掛川市・袋井市病院企業団企業長

全国病院事業管理者協議会入会の御案内

当協議会は、病院事業に地方公営企業法を全部適用している団体により構成され、全適病院の運営に資することを目的としております。令和3年10月1日現在、会員数は全適団体160団体となっております。

当協議会の各種活動につきましては、ホームページ（URL <http://jmhaa.net>）で御覧いただけます。

是非この機会に御入会くださいますようお願い申し上げます。

記

1 主な活動

（定例会及び研修会の詳しい活動内容については、ホームページを御覧ください。）

（1）定例会の開催

年1回、「全国病院事業管理者・事務責任者会議」を開催し、重要なテーマについて講演等を行います。

（2）研修会の開催

年1回、病院事業管理者を対象とした研修会を開催します。

（3）ホームページ

一般向けWebサイト、会員専用Webサイトや会員用メーリングリストにより、会の活動報告や会員相互の情報交換を行っています。

（4）病院事業運営の個別相談

地方公営企業としての病院事業運営について、経験豊富な役員等が個別の御相談に応じています。

2 全国病院事業管理者協議会会則

（1）会 員

地方公営企業法を全部適用している団体の管理者

（2）会 費

年会費 50,000円

（3）入会申込書は、ホームページの「入会について」に様式がございます。

※入会申込書の送付先や当協議会に関する御質問等は、下記事務局までお願いします。

〒030-8553 青森市東造道2-1-1

全国病院事業管理者協議会事務局

（青森県立中央病院 がん診療センター企画室内）

担 当：佐々木・小笠原

電 話：017-726-8046 F A X：017-752-9088

E-mail：jimukyoku@jmhaa.net